

ふれ愛にしうち



第10号

太田西ノ内病院広報誌・第10号

発行/財太田綜合病院附属太田西ノ内病院

編集/太田西ノ内病院広報委員会

発行日/平成14年12月

住所/郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL (024) 925-1188

ホームページ: <http://www.ohta-hp.or.jp/>



診療科紹介

心臓血管外科

当科は、循環器科とともに「西ノ内病院循環器センター」の両翼をなし、心臓、血管疾患の外科治療を担当しております。現在3名の心臓血管外科専門医で年間約150件の手術を行っており、その大半を心臓手術が占めています。

心臓は胸壁からわずか3cmほどの近くにある臓器にもかかわらず、古代ギリシア、アリストテレスの時代から「魂の宿る臓器」とされ、外科医がメスを入れることが許されない「聖域」でした。それから2000年以上を経て、人工心肺装置を用いた本格的な心臓手術にはじめて成功したのは1954年。ですから心臓外科の歴史はまだ半世紀に満たないのです。

しかし心臓の解剖や生理学的な機能が明らかにになり、薬剤、手術材料の著しい進歩とあいまって現在では殆どの心臓病に対して手術による治療が可能となりました。

太田総合病院は、福島県において心臓手術に先鞭をつけ、その歴史は太田記念病院に遡り、太田熱海病院時代を経て、最新鋭の医療機器を備えた現在に至っています。

心臓血管手術は外科医だけで成り立つものではありません。循環器科医による正確な診断、麻酔科医による細心の麻酔、臨床工学技

師による人工心肺の周到な操作、そして高度な看護技術による手術後管理が一体となって重症な患者さんの社会復帰が可能となるのです。

主な心臓手術は、弁膜症に対する人工弁置換、弁形成手術、虚血性心疾患（狭心症）に対する冠動脈バイパス手術、先天性心疾患に対する根治手術などです。

一方、生活習慣病の増加と発見率の向上によって、血管病の手術も増えていきます。血管手術は胸部、腹部の大動脈を対象とする大血管手術と手足の血管を対象とする末梢血管手術に大別されます。大血管手術は主に動脈瘤に対して、末梢血管手術は主に動脈硬化による閉塞病変に対して行っており、いずれも人工血管による再建手術が中心です。

また、足の静脈瘤に対する治療も行っています。患者さんの年齢は幅広く、1000グラムにも満たない赤ちゃんから90歳に近い高齢の方までさまざまです。

いずれの心臓、血管病の患者さんに対しても、西ノ内病院内各部門との綿密な連携により、患者さんにとって最良、最新の治療としての手術が行えるようにスタッフ一同、努力を積み重ねております。

（数馬 博）



浅野 満（前列左）数馬 博（前列中央）大竹 晋（前列右）とスタッフ

西ノ内見聞録

ここでは、西ノ内病院の各病棟・外来・その他さまざまな部署に潜入し、その全容にせまってみたいと思います。

NICU

やさしさと思いやりを大切に！



NICUスタッフ

はじめとする低出生体重児が主ですが、そのほか成熟児の呼吸障害や心疾患など、ほか小児外科疾患（食道閉鎖・小腸閉鎖・鎖肛・横隔膜ヘルニア・腹壁異常など）は全体の一割弱を占め、県北の新生児外科疾患のほぼすべてを請け負っています。スタッフは小児科医師3名・看護スタッフ24名から構成され、24時間体制で患者さんの治療・看護に携わっています。

以上のような性質上当然のことですが、入院なさる患者さんは生直後からもしくは生後数日以内の赤ちゃんたちです。機械に囲まれて治療をうける赤ちゃんは言葉こそ喋ることはできませんが非常にストレスを受ける事になります。また、親御さん達も我が子をそうした環境に置かざるを得ないストレスは想像以上のものでしょう。そうしたなかで、できるだけ赤ちゃんのストレスを減らした環境を目指すこと、親御さんの心の傷を少しでも癒し、親子の絆を築くお手伝いをさせていただくことをデイベロップメンタル・ケアと呼びながら実践しています。そのなかのひとつ、カンガル・ケアは赤ちゃんとお母さんが素肌で触れ合うケアです。お母さんの胸のなかで赤ちゃんがやすらかな表情をうかべ、喜んだ親御さんの笑顔を見ると、多忙な業務もふっと報われる一瞬です。

非常に狭い医療機器ばかりの空間ですが、スタッフ一同、親御さんの笑顔や成長する赤ちゃんを励みに日々頑張っています！

（増子松代）

産婦人科外来

女性のサポーター



産婦人科外来スタッフ

今や女性の平均寿命は約83歳、そんな長い人生をサポートするのが産婦人科外来です。

病院によっては、婦人科と産科は、それぞれ別な外来窓口を設けている所もありますが、当院ではどちらも同じ診察室での診察となります。

受付時間は、月曜日から土曜日まで11時30分までとなっています。

特有の婦人科疾患をもつ人達にとっては、同じ診察室での診察が苦痛を伴ったり、羞恥心を感じることがあります。そのため午後は専門外来を行なっています。思春期外来、不妊外来、更年期外来、レーザー治療、HSG産婦人科外来があります。（産婦人科）は、新しく始めた外来です。当院で御出産された方達

が対象ですが、母乳のトラブルにも対応しています。「待ち時間の短縮」と「母乳栄養を応援しよう」という気持ちで始めました。なかには、赤ちゃんと一緒に来院される方もあります。入院生活を一緒に過ごしたことで待ち時間には、あちこちで談笑する姿もみられ、明るい外来です。「産後検診」だけでなく育児に対する不安の軽減になるよう笑顔で対応しています。保健指導も多く時間をとることが出来ますので、個々のニーズにあった指導を心掛けています。病棟スタッフと協力しながら「また、生みに来ます」と言ってもらえるように頑張りたいと思います。

《更年期外来》は、金曜日の午後、田中医師が担当しています。更年期とは一般に卵巣機能が低下し始めてから完全にその機能がなくなるまで閉経をはさんで前後10年間くらいを指しますが、タイミングやストレス、栄養障害などが原因で若年化の傾向もあります。女性特有のホルモンであるエストロゲンの分泌が減少することで人によって身体や心に様々な障害があらわれます。個人差が大きく症状もいろいろですが「張りや足りない」などと自分を責めずに一度SMI（更年期簡易指数）による自己診断を試してみませんか？50歳以上の方は治療の対象となります。新しいホルモン補充療法がいろいろあります。カウンセリングの時間も大事と考えて、診療を行なっています。

《不妊外来》は毎週火曜日田中医師が主に担当しています。毎月第2火曜日は、東北大学より村助教、月に1回高知大学の深谷教授の専門外来があります。最近のストレス社会、環境ホルモン、晩婚化などなどで不妊で悩むカップルも増えています。治療が長期にわたることもあります。なかなか結果が得られないことで精神的に不安定になる方もあります。なんでも相談できる雰囲気づくりを心掛けています。

産婦人科外来スタッフ一同は「女性の味方」です。「やさしさ」と「誠実」をモットーに患者様の負担を少しでも軽減してあげられるように努めていきたいと思っています。

くすりの広場⑩

「薬剤部薬剤情報室」の仕事



薬剤部医薬品情報室は、平成14年4月から旧病診連携室（本館2F医局入口）に移動しました。医薬品情報のDrug Informationを略してDI室と呼ばれることもあります。

DI室の主な業務は医薬品情報資料の収集、整理、保管並びに医薬品に関する情報の伝達と医薬品に関する質疑に対する情報の提供です。医薬品情報の交通整理をするところと言え換えることができるかもしれません。医薬品の適正使用の基本となる情報は、添付文書と呼ばれるものですが、この他にインタビューフォーム、使用上の注意の解説書や製品情報概要（以前はパンフレットとよばれていました）など多岐にわたります。DI室では、当院で採用になっている医薬品に関する情報をそれぞれ1つずつファイルにまとめ、50音順に配列して自由に閲覧できるようにしてあります。DI室に寄せられる問い合わせで一番多いものは、当院で採用になっている医薬品名や薬などの規格です。その他に医薬品同士の飲み合わせ（相互作用）や点滴などの配合変化、ダイエット用健康食品や健康薬といった最

近何かと話題の多い健康食品などがあります。

さらに、厚生労働省から毎月配布される医薬品・医療用具等安全性情報を医局会で報告したり、逆に当院で発生した副作用などの安全性情報を厚生労働省に報告する窓口となっています。これらの情報は、病診連携における医院や診療所の活動支援の一環として、文章で配布することにもインターネットからも閲覧することができるようになっております。インターネットのアドレスは、<http://open.ohla.wbs.biglobe.ne.jp/>です。太田西ノ内病院、地域医療連携室のホームページの画面の太田西ノ内病院薬剤部をクリックしてご覧ください。医薬品に関するお問い合わせは、お電話かメール（di@ohla-hp.or.jp）でも受け付けております。お気軽にご相談下さい。



検査あらがると心電図検査について

当院生理検査室では、心電図や脳波等のように電極を用いて身体から発生する微弱な電気信号を記録する検査や超音波を利用して内臓の形態を体表から観察する超音波検査等々、多くの検査を実施しています。今回は、これらの検査の中から心電図検査について紹介いたします。

心電図検査とは心臓から発生している電気信号を波形に変換し、正常かどうか判断する検査ですが、目的に応じて幾つかの種類に分類されます。よく知られている一般的な検査としては安静時心電図があります。手足や胸部に電極を装着し安静状態にて行う検査であり、不整脈や心肥大、心筋梗塞の診断に有用です。検査時間は1分以内と非常に短時間で終了します。また、狭心症の有無や重症度評価等、安静時に判定できない心電図変化は、心臓に負荷を与える運動負荷心電図検査により観察します。検査には20分から30分の時間を必要とします。その他に



運動負荷心電図検査

が、足の付け根の血管から挿入した電極により、直接心臓内部の電気信号を記録する電気生理学的検査があります。通常心電図と比べ不整脈に関する詳細な情報が得られるため、疾患によっては診断や治療に欠かすことのできない検査です。このように、私たちの施設では、患者さんの健康状態を正確に反映するために目的に応じた心電図検査を実施しております。検査によっては測定に時間を要したり特別な措置を必要とするものがありますが、スタッフ一同、より良い対応を心掛けておりますので何卒御了承ください。

（高久田美江）



ホルター心電図検査

は、動悸やめまいの原因となる頻脈または徐脈性不整脈の検索に有用なホルター心電図検査があります。装置を携帯し、24時間心電図を連続記録しているため、不整脈出現時にはタイミングを逃がさず記録することが可能であり、原因の解明に役立っています。最後に特殊な例です

患者さんに信頼される 病院をめざして(地域医療連携室)

近年、新聞やテレビなどで「病診連携」という言葉を、よく耳にすることがある

と思います。本来、緊急を要する病気で、外は、まず診療所(医院・クリニック)で診察を受け、精密な検査や治療を必要とする時に病院へ紹介していただくというのが医療の基本です。そのために病院と診療所は、常に連絡を密にして患者さんへ最善の医療を提供できるよう努力をしています。従来は、患者さん自身が診療所や病院を選び、通院から入院までまかせていましたが、今はほとんどの診療所では入院設備を持っていません。患者さんの中には病院に通院していいと、いざという時に希望する病院へ入院できないのではないかと思っている人がよくみられます。そのため太田西ノ内病院では、地域医療を担っている診療所の先生方に登録医になってもらって病診連携を密にしています。やむなく入院となった場合には、紹介された先生が「共同指導」といって週に1回くらい病院へ診察に訪れますので不安を抱く必要はありません。



写真①



写真②

また、当病院と登録医の先生方で勉強と親睦を兼ねて「オープンシステム勉強会」というのを行っています(写真①)。

現在は、通院中の診療所から紹介状をもたせてくると、本館1階にある「紹介患者専用窓口」(写真②)というところで受付をして、スムーズに外来診療や入院することができるようになっています。そのお手伝いをしているのが地域医療連携室です。太田西ノ内病院と地域の医療機関(診療所、医院、クリニック)との連絡役を務め、いつも患者さんから愛される病院をめざして努力しています。これからも、病診連携の要の役を担っている地域医療連携室を信頼して、ご利用くださるようお願いいたします。

(室長 大和田憲司)

彩食健美

きのこ鶏肉の炊き込みご飯



【材料】(4人分)

米	2合	まいたけ	1/2パック
しいたけ	4枚	しめじ	1パック
鶏もも肉	100g	しょうゆ	大さじ1
ごま油	大さじ1/2	昆布	9cm
しょうゆ	大さじ2		
(彩り)	錦糸卵・飾り切りの人参		
	みつば		

(1人分)

エネルギー 370kcal
塩 分 1.5g

涼やかな虫の声と共におなかの虫も騒ぎ出す季節です。そんなときに食べたくなる旬のご馳走は、子供からお年寄りにまで人気がある「炊き込みご飯」です。今回は、「きのこ鶏肉の炊き込みご飯」をご紹介します。

きのこはエネルギーはありませんが、ビタミンB類・食物繊維を多く含み、血中コレステロールを低下させる作用があります。菌ごたえと風味が魅力のまいたけは傘の色が濃く、身がしまった物がお勧めです。しいたけは、肉厚で傘の裏が白く、開ききっていないものを選びましょう。「香り松茸味しめじ」と言われるしめじは、傘が小さく、茎が太く白いものが新鮮です。だしをとらなくても出来る、簡単な作り方でぜひお試しください。

【作り方】

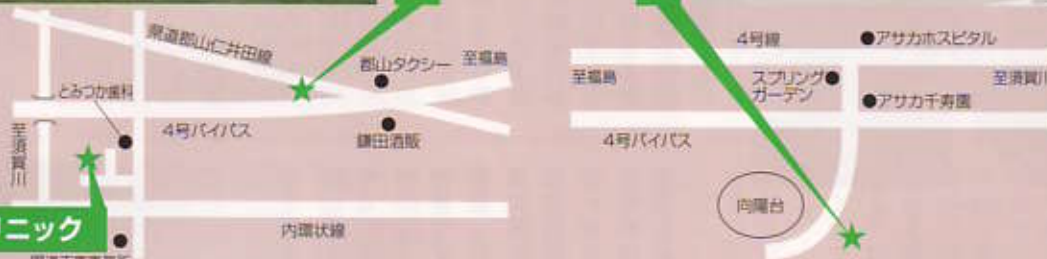
- ①米は研いで炊飯器の釜に入れ、1割増(通常より30〜40cc増やす)の水を加減にする。
- ②きのこは石づきを取り、しいたけは四つ割り、しめじは一本ずつに、まいたけは食べやすい大きさに分ける。
- ③鶏もも肉は小さく切り、しょうゆ大さじ1をもみ込む。フライパンにごま油を熱して強火で鶏肉を炒め、火が通ったらきのこを加えて炒める。
- ④①の釜に昆布・しょうゆ大さじ2・③のきのこ・鶏肉を入れて炊く。
- ⑤炊き上がった後、軽く混ぜて器に盛り付ける。彩りの錦糸卵・人参・みつばをあしらう。



津田循環器内科医院



小橋クリニック



荒井中央クリニック



オープンシステム 情報ネットワーク

太田西ノ内病院では、患者さんに質の高い医療を受けていただくために、開業医の先生方と連携をむすんでいます。ここでは、太田西ノ内病院オープンシステムの登録医療機関、登録医師をご紹介します。

小橋クリニック



小橋主税先生とスタッフのみなさん

院長 小橋 主税
昭和55年 福島県立医科大学卒業
昭和55年 福島県立医科大学第二内科入局
昭和57年 太田西ノ内病院消化器内科勤務
昭和58年 福島県立医科大学第二内科勤務
昭和61年 公立藤田病院勤務
平成3年 小橋クリニック開業

最後に、太田西ノ内病院の益々の御繁栄、御活躍されます事を、切に願っております。

開業後十二年が経過しましたが、地元という事で、患者さんも個人的に知っている方が多く、意志の疎通もとれやすく私なりに信頼関係がとれていると思っております。ただ同じ目線で診療する様に心がけております。又、西ノ内病院の先生をはじめ、職員の方々とも、昔からお付き合いをさせて頂いている方が多く、何かと御面倒な事も取りはかっているかと思いますが、ただ患者さんのためには、大変重要な事です。

開業後十二年が経過しましたが、地元という事で、患者さんも個人的に知っている方が多く、意志の疎通もとれやすく私なりに信頼関係がとれていると思っております。ただ同じ目線で診療する様に心がけております。又、西ノ内病院の先生をはじめ、職員の方々とも、昔からお付き合いをさせて頂いている方が多く、何かと御面倒な事も取りはかっているかと思いますが、ただ患者さんのためには、大変重要な事です。

所在地/〒962-0402
須賀川市大字仁井田字大谷地172-3
電話/0248-72-1555
FAX/0248-72-1556
診療科/内科・胃腸科・小児科
休診日/土曜日午後・日曜日・祝祭日
診療時間/月～金曜日
午前 8:30～12:00
午後 2:30～ 6:00
土曜日
午前 8:30～12:00

病床数/なし
往診・訪問診療/往診のみ

登録医から

いつも、太田西ノ内病院の先生方をはじめ、事務職員及び看護婦の方々には、お世話になり、大変感謝しております。

当院は、須賀川市内でも、郡山市に隣接し、田園風景がみられる片田舎の診療所です。地元の小・中・高校を卒業後、福島県立医大に進学し、出身地の当院で開業致しました。

大変生いきな事を述べてさせて頂きましたが、最近、新聞、報道で医療事故が多く取り上げられている様に思われます。一番の問題点は、今の日本全体的に共通しております虚偽、いつわり、すなわち、人と人との信頼感が薄れてきているのでは、ないかと思ひます。

71 ふれ愛・にしのうち

★21世紀の申し子たち★

太田西ノ内病院で生まれた赤ちゃんを毎回紹介していきます。

質問

- ①生まれた時の感想
- ②名付けの理由
- ③子どもに願うこと
- ④ご両親の決意を一言

デ
ー
タ

わたなべ
渡辺 ももちゃん

- 平成14年10月31日
11時8分生まれ
- 体重3740g
- 父：渡辺 健二さん
母：渡辺 純さん



デ
ー
タ

さとう
佐藤 ほかちゃん

- 平成14年10月31日
9時42分生まれ
- 体重2430
- 父：佐藤 武さん
母：佐藤 明美さん



ももちゃんとお母さん

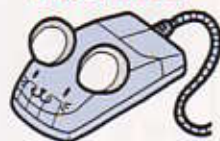
- ①痛い！けどカワイイ
- ②女の子なので、かわいらしく、誰でも呼びやすい名前
- ③元気で優しい子、人の気持ちのわかる子
- ④2人で頑張ってるこの子と一緒に成長して行きたい。



ほかちゃんとお母さん

- ①私達の子供として無事生まれてきてくれて「ありがとう!!」
- ②この子がそこに居るだけで、ほんの少しでもいいから場が和んだり気持ちが安らぐような...そんな空気を持った子になって欲しいという願いをこめて、名づけました。
- ③頭より心。感受性の豊かな、あたたかい子に育てたいと思います。
- ④生まれた時の感動と感謝を忘れず、低体重児として生まれたにもかかわらず、必死の頑張りを見せてくれているこの子の「生命」を慈しみながら、人の親として私達も一緒に成長していきたいと思っています。

編集後記



先日、勤続10年の表彰を受けた。「10年一昔」というが、就職したのは平成4年4月。振り返るとこの10年で周りは目まぐるしく変動

している。代表的なものとしてはパソコンや携帯電話の普及。当時は、見るのもめずらしかったが、今では一人に一台もしくは2台などという人さえいる。太田西ノ内病院においては、5号館がオープン。救急医療がより一層充実し、さらに院内全面オーダリングシステムが開始した。逆に何も変わってない自分自身に気づき、少し寂しくなってしまう。皆さんはどうですか？

ところで、この「ふれ愛にしのうち」も今回で10号という節目を迎えた。太田西ノ内病院の情報を、いち早く、わかりやすく皆さんにお知らせできるよう、また、「ふれ愛にしのうち」を通じて、地域の方々とより多くコミュニケーションがとれるよう、編集員一同努力いたします。今後も「ふれ愛にしのうち」をよろしく願っています。

(木原 均)

太田西ノ内病院広報委員会

委員 須田 秀一

小池 修一 遠藤めぐみ
朝倉 俊成 後藤 桂子
松田美津子 荒川 幸徳
木原 均・久下 薫
佐藤 浩徳(幹事)